

神戸市が「第3次市営住宅マネジメント計画(案)」を公表

# 市営住宅を7000戸も廃止!

コロナ禍なのに、今なぜ?

神戸市の久元市長は「将来の過度な財政負担」を理由に市営住宅を、令和12年度末に震災前水準(4万戸未満)まで削減する「第3次マネジメント計画(案)」を公表しました。

計画(案)では、築40年以上のエレベーターのない住宅7057戸(裏面に一覧)を廃止しようとしています。今回の計画は、借上げ住宅の入居者を裁判に訴えて「転居」をせまる強引なやり方で6087戸も削減した第2次計画(平成23年度～令和2年度)を上回る削減計画です。

住みなれた住宅・地域から転居をせまられ、新しい住宅で家賃が高騰すれば、暮らしはいっそう大変になります。

また築40年に満たない住宅も「将来再編」を理由に募集停止。ここでも、空き家が増えることで、コミュニティや近隣店舗の維持に困難が予想されます。



第3次市営住宅マネジメント計画(案)の概要

期間	令和3年度から令和12年度	
目標	約7,000戸削減	令和元年度末 46,981戸 → 令和12年度末 40,000戸未満
廃止対象	エレベーターのない住宅	
①昭和55年以前に建設	廃止	7,057戸
②昭和56年～60年に建設	募集停止	2,761戸

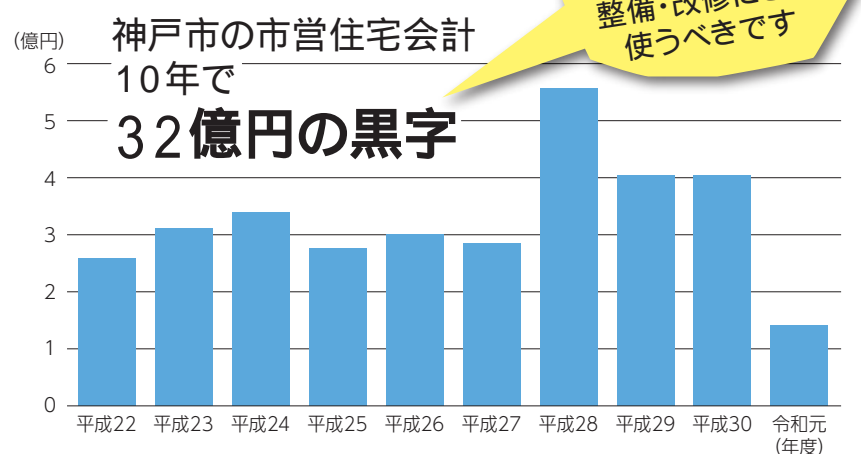
## 私たちの住まいを奪わないで!

### 久元市長は住宅削減計画(案)の撤回を!

コロナ禍で貧困と格差が広がるなか、市営住宅への入居希望者がふえています。そうしたニーズにこたえられるよう市営住宅を増やして、若い世代も入りやすくすることこそ神戸市に求められます。

公営住宅等整備基準(第三条)には「公営住宅等は、安全、衛生、美観等を考慮し、かつ、入居者等にとって便利で快適なものとなるように整備しなければならない」と自治体の整備責任が明記されています。

エレベーター設置や住戸内の設備の改善は、住宅削減ありきではなく、神戸市の責任でいまず改善をおこなうべきです。



### 日本共産党神戸市議団は

みなさんとともに住環境改善に全力をつくします

### 市民意見募集中

1月8日まで

### みなさんの声で

神戸市は、計画(案)の市民意見募集をおこなっています。

計画(案)はまだ決定ではありません。平成31年度に神戸市が提案した地域切り捨ての「都市空間向上計画」に対し、多くの住民が反対の声を上げたことから、大幅に修正させました。

「引き続き、今の住宅に住み続けたい」「廃止ではなく、改修で住環境を改善してほしい」などの声を神戸市にとどけましょう。

※計画(案)本文は区役所等かホームページでご覧いただけます。

### 計画(案)を撤回させましょう!

#### 「市民意見募集」の提出のしかた

令和2年12月2日(水)～令和3年1月8日(金)

件名「第3次市営住宅マネジメント計画(案)」と氏名・住所をご記入のうえ、下記のいずれかの方法で提出できます。

- ①郵送 〒651-0083 神戸市建築住宅局住宅整備課 意見募集あて
- ②FAX 078-595-6661 神戸市建築住宅局住宅整備課 意見募集あて
- ③電子メール jigyoikeikaku@office.city.kobe.lg.jp ※件名に意見募集と記載
- ④持参 中央区浜辺通2-1-30 三宮国際ビル3階 住宅整備課
- ⑤意見提出フォーム ホームページはこちら



